サケ新聞

平成18年
1月10日

城東小学校

命の体験部

各クラスの取り組み

十二月二十六日に、各クラスの水そうでどのくらいのサケのたまごがしんでしまったのか、報告してもらいました。結果は、次の通りです。

クラス	サケの死んだたまごの数	現在あるサケのたまごの数	クラス	サケの死んだたまごの数	現在あるサケのたまごの数
1の1	7	35	4の1	85	88
1の2	33	89	4の2	58	100
1の3	30	83	4の3	90	20
2の1	22	45	なかよし	20	69
2の2	26	32	5の1	56	40
2の3	51	60	5の2	12	48
3の1	9	67	5の3	19	22
3の2	8	43	6の1	56	112
3の3	59	116	6の2	34	68
			6の3	34	66

平成17年12月26日現在

たくさんのたまごがしんでしまったけれど、たくさんのたまごがこれから育つことがわかりました。死んでしまったたまごをどうしたらよいか、各学級で話し合い実行してください。

桜川にもサケがあらわれた!?

那珂川だけじゃなく、桜川にもサケがあらわれたと聞き、吉池先生と高津戸先生、市毛先生で確かめにいってきました。左の写真はそのときのものです。

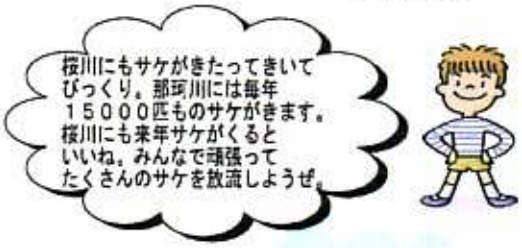
死んだサケのおや

確かにサケはいました。もうすでに産卵が終わり、親は死んでいました。三人で歩いていると黒鳥が近づいてきて、えさをほしがっていたのでえさをかって与えました。するとまわりの鳥もよってきて大変でした。

これからたくさんふ化するぞ☆

冬休みが終わり、ふ化した。これからどんどんふ化が終わるとすぐ光の色は苦手だろう。黒い分、画用紙にはりつけて栄養分をおくる。

オレンジ色の袋をもったちぎょ



サケは昔、殿様に献上していました。いまでいう、お歳暮やお中元といったところですね。水戸のサケはおいしいと評判だったらしいよ。